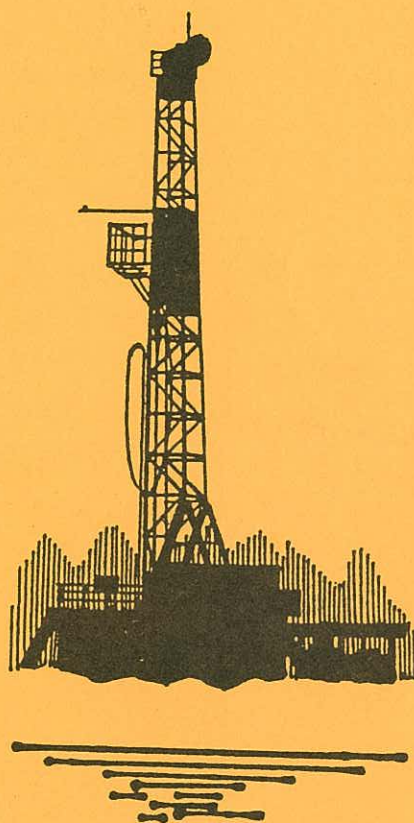


採 揚 作 業

(作井マニュアル 2)



石 油 技 術 協 会
作 井 技 術 委 員 会
作井マニュアル分科会
(平成元年12月)

作井マニュアル委員会および著者

座 長	林 廣 一	(日本海洋掘削株式会社)
副 座 長	岩 谷 達 夫	(帝国石油株式会社)
〃	丸 山 一 夫	(帝国石油株式会社)
〃	若 林 大 策	(帝国石油株式会社)
	石 井 美 孝	(石油資源開発株式会社)
	石 黒 裕 康	(日本海洋掘削株式会社)
	伊 藤 寛	(日本海洋掘削株式会社)
	上 田 真 司	(日本海洋掘削株式会社)
	浦 野 剛	(石 油 公 団)
	岡 崎 憲 明	(ド リ コ 株 式 会 社)
	奥 村 直 士	(日本海洋掘削株式会社)
	川 村 和 広	(帝国石油株式会社)
	菅 野 博 仁	(三井石油開発株式会社)
	古 賀 敏 博	(石油資源開発株式会社)
	小 林 秀 隆	(石油資源開発株式会社)
	武 安 俊 典	(出光石油開発株式会社)
	竹 内 輝 義	(日本海洋掘削株式会社)
	田 崎 誠 司	(帝国石油株式会社)
	田 中 俊 次	(出光石油開発株式会社)
	谷 口 典 孝	(日本海洋掘削株式会社)
	中 村 常 太	(石油資源開発株式会社)
	松 岡 洋	(日本海洋掘削株式会社)
	三 好 学	(出光石油開発株式会社)
	吉 田 肇	(帝国石油株式会社)
オブザーバー	田 中 彰 一	(東京大学工学部)

目 次

まえがき	1
I 事例研究	2
1-1 ドリルストリングの抑留	2
1-2 ドリルストリングの切断, ネジ戻りによる遺留	15
1-3 ジャンクの坑内遺留	27
1-4 ワイヤールインツールの抑留・遺留	36
1-5 ケーシングパイプの抑留, 坑内遺留	41
1-6 テストツールの抑留・遺留	55
1-7 チュービングパイプの抑留・遺留	56
1-8 パッカー, 仕上げ機器の抑留・遺留	58
II 採揚作業に伴う各種作業の方法と手順	64
2-1 ジャーリングの方法	64
2-2 オイルスポットの方法	66
2-3 バックオフの方法	69
2-4 オーバーショットの一般的使用方法	74
2-5 サイドトラックの方法	77
2-6 検層ケーブル等を串柿によって採揚する方法	89

作井マニュアル委員会および著者

座 長	林 廣 一	(日本海洋掘削株式会社)
副 座 長	岩 谷 達 夫	(帝国石油株式会社)
〃	丸 山 一 夫	(帝国石油株式会社)
〃	若 林 大 策	(帝国石油株式会社)
	石 井 美 孝	(石油資源開発株式会社)
	石 黒 裕 康	(日本海洋掘削株式会社)
	伊 藤 寛	(日本海洋掘削株式会社)
	上 田 真 司	(日本海洋掘削株式会社)
	浦 野 剛	(石油 公 団)
	岡 崎 憲 明	(ドリコ株式会社)
	奥 村 直 士	(日本海洋掘削株式会社)
	川 村 和 広	(帝国石油株式会社)
	菅 野 博 仁	(三井石油開発株式会社)
	古 賀 敏 博	(石油資源開発株式会社)
	小 林 秀 隆	(石油資源開発株式会社)
	武 安 俊 典	(出光石油開発株式会社)
	竹 内 輝 義	(日本海洋掘削株式会社)
	田 崎 誠 司	(帝国石油株式会社)
	田 中 俊 次	(出光石油開発株式会社)
	谷 口 典 孝	(日本海洋掘削株式会社)
	中 村 常 太	(石油資源開発株式会社)
	松 岡 洋	(日本海洋掘削株式会社)
	三 好 学	(出光石油開発株式会社)
	吉 田 肇	(帝国石油株式会社)
オブザーバー	田 中 彰 一	(東京大学工学部)

目 次

まえがき	1
I 事例研究	2
1-1 ドリルストリングの抑留	2
1-2 ドリルストリングの切断, ネジ戻りによる遺留	15
1-3 ジャンクの坑内遺留	27
1-4 ワイヤーラインツールの抑留・遺留	36
1-5 ケーシングパイプの抑留, 坑内遺留	41
1-6 テストツールの抑留・遺留	55
1-7 チュービングパイプの抑留・遺留	56
1-8 パッカー, 仕上げ機器の抑留・遺留	58
II 採揚作業に伴う各種作業の方法と手順	64
2-1 ジャーリングの方法	64
2-2 オイルスポットの方法	66
2-3 バックオフの方法	69
2-4 オーバーショットの一般的使用方法	74
2-5 サイドトラックの方法	77
2-6 検層ケーブル等を串柿によって採揚する方法	89